

## 佳作

### 地域の発展のために

青森県つがる市立森田中学校

3年 七戸 ひより

私が住んでいる青森県には、豊かな自然や伝統的な祭りなど、たくさん魅力があります。私は、そんな魅力に溢れた地元での活動に、エネルギーを持って取り組んでいきたいと思っています。小学生のときにも、授業の一環として地域について調べる機会があったのですが、その頃はあまり関心がありませんでした。しかし、中学生になり、さまざまな活動を通して自分の地域の魅力に気づき、もっと地元のことを知りたい、自分にできることを探していきたいと思うようになりました。

私がこう思うようになったきっかけは、地域の公園のごみ拾い活動を行ったことです。近所にある小学校の6年生と養護学校と、合同でごみ拾いを行いました。その公園には小さい頃からよく行っていたけれど、ごみが落ちていているという印象はあまりありませんでした。ですが、公園を歩いていると、たばこの吸殻や空き缶などのごみが思っていた以上に落ちていて驚きました。それと同時に、思い入れのある公園が汚れてしまっていることに悲しくなったし、その現状に今まで気づくことができなかつたことを反省しました。ごみ拾いという活動を通して、地域に貢献できる喜びと達成感を味わうことができました。それに、みんなで協力してごみ拾いを行うことがとても楽しかったので、もっと地域活動に参加したいと思うようになりました。

また、校外学習で、「ねぶたの家 ワ・ラッセ」を訪れたこともきっかけの一つです。もちろんねぶたは何度も見たことがあるけれど、展示されているねぶたをいつもより間近で見ることができて、また違った迫力がありました。そして、施設には、海外や他県からねぶたを見に訪れている人がたくさんいて、自分の地域の祭りに興味を持って遠くから来てくれていることが、まるで自分のことのようにうれしかったし、誇りに思いました。特に驚いたのは、施設の人が外国から来た人にも分かるように英語での説明をしていたことです。ねぶたの魅力がより多くの人に伝わるような工夫に感動しました。私はもともと英語に興味があったので、英語を地域での仕事にも生かせるという新たな発見をすることもできました。これから、ねぶたがもっと注目されて、活発になっていくといいなと思ったし、私も得意なことを生かして地域の活動をしてみたいと思いました。

私の通っている中学校は地域での活動が多く、地域の魅力に気づけるような

環境に恵まれていると思います。伝統芸能である「三方荒神鹿島獅子」を継承していたり、校舎の隣に森田歴史民俗資料館があったり、地域とのつながりや古くからの文化を大切にしている学校だなといつも思っています。最近では、私たちが住んでいるつがる市を盛り上げるために、つがる市のイベントである「つがる市馬市まつり」に参加することになっています。地元のよさこいチームの方々によさこいを教えてもらって、練習をしています。祭りを盛り上げるために、一生懸命頑張って練習し、楽しいイベントになるといいなと思います。

学校生活の中で、自分の住む地域の良いところにたくさん気づくことができたり、地域での活動の楽しさにも気づくことができました。地域とのつながりを深めることによって、自分の考えも深まるし、地域全体の活力を強めることもできると思っています。今まで行ってきたさまざまな経験を生かし、もっと地域に貢献していきたいです。大人になってからも、地元を盛り上げるための活動に積極的に参加して、県全体が発展して行ってほしいと思います。そして、これからは地域の課題や自然環境にも目を向けていって、自分にできることを少しでも見つけたいです。今後も、地域への思いを大切に、エネルギーを持って、地域の活動に取り組んでいきたいと思っています。